

# 伝染性単核（球）症

## 《特徴》

発熱・扁桃炎・頸部リンパ節腫脹・肝障害を伴うEBウイルスを原因とする疾患

## 《症状》

20歳前後の若年者に発症が多い

経過 2～3週間

発熱：有熱期間が長い（10日前後）

扁桃炎：抗生剤が効きにくい

肝障害：2週間位つづく。肝障害に伴う倦怠感

肝脾腫

発疹：時に体に現れる

## 《原因》

EBウイルスの初期感染

日本人の90%は、乳幼児期に初期感染を受けており、抗体を保有している。

## 《検査》

白血球の上昇

特にリンパ球と単球

異型リンパ球の出現

肝機能異常

EB抗体値の上昇

## 《治療》

安静

対症療法

抗生剤

## 《予後》

3週間あれば全快する予後良好の疾患

はなみ会ホームページ

<http://hanamikai.com>

